



ゆうメール



4月の営業日
○の日はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月の営業日
○の日はお休みです

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

暖かくなって、お花が咲き始めて、楽しい季節ですが、花粉症の方には、大変な季節ですね。まだまだマスクが手放せません。お正月に引き続き、ゴールデンウィークはまたまた長いお休みをいただき、ご迷惑をおかけします。5月号のかわらばんは、休み明けの5月中旬に発送させていただきます。今月は、5月のカレンダーも同封させていただきます。5月のまちがいがしは、来月送りますね。来月は、3回目のひまわりの種を同封します。戦争に苦しむウクライナとロシアの国花を植えて、世界の平和を願おうと植えていただいたのですが、日本も地震など悲しいことがたくさんです。少しでも皆さんの笑顔と安堵につながればと思います。植える準備をお願いします。



エアコンのお手入れの季節です。冬の間、暖房運転で使い続けたエアコンも、暖かくなるにつれて少しずつ使わなくなってくる頃。冬にお世話になったエアコンは、しっかりとお手入れをして、夏の冷房シーズンに備えましょう。必ず運転をきちんと停止し、電源プラグを抜いてからお手入れをスタートしましょう。

エアコンの前面を覆っているパネルは、柔らかい布で拭きましょう。エアコンのフィルター掃除は、一度本体から取り外し、掃除機を使ってホコリを吸い取ります。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤で浸け置き洗いがおすすめ。湿っているとカビの原因にもなるのでよく乾燥させ、本体に戻すことがポイントです。取付方向など気を付けて、セットしてください。無理に力を加えると部品が破損してしまいます。特に年数の経過しているプラスチックのパーツは割れやすくなっていますので気を付けてください。

フィルターを外した本体内部に汚れやカビが付着していたら、手が届く範囲であれば拭きとり、手が届かない部分までカビの付着やカビくさいにおいがする場合にはエアコンのクリーニングをご依頼ください。エアコンの縦羽部分である「ルーバー」は、隙間が狭く、掃除機などが届きにくい場所。柔らかい布で乾拭きするようにしてお手入れしましょう。エアコンのクリーニングは高い専門知識が必要なため、エアコン内部の洗浄をするのはやめましょう。誤ったクリーニング方法(除菌剤やお掃除スプレーをするなど)を行うと、内部に残った洗浄剤で故障の原因につながる恐れがあるため、当店におまかせください。

クリーニング後は内部クリーン機能や送風運転を活用し、できるだけカビが発生しないように気を付けましょう。

ちなみに、エアコンフィルターを1年間掃除しないとフィルターの目詰まりで、年間約25%も電気料金が無駄になってしまうという実験結果があります。この25%の消費電力量のアップは主に暖房時におけるもので、言い換えれば冬こそフィルター掃除を徹底的に行いたいものです。でも、冷房時もフィルターの目詰まりで冷えや風量が弱くなり、結果設定温度を下げてしまったり、風量を上げることで消費電力のアップにつながるため、一年を通してこまめなフィルター掃除で冷暖房効率を上げることが大事といえそうです。

今回、エアコンクリーニングのちらしも同封させていただいております。エアコンのクリーニングを定期的に行っていただき、気持ちよくエアコンを使ってください。

冬の暖房の間、加湿していた方も多いと思います。加湿器もきちんと水洗いしてフィルターがある機種の場合は、フィルターを乾燥させたり、新しいフィルターを準備して、来シーズンに備えたいものです。水に浸かったままですと、カビだらけになってしまいます。

まだ片付けるには早いかもしれませんが、灯油を使うファンヒーターや石油ストーブなども、片付ける際には、きちんと灯油を抜いて、仕舞ってください。そのまま夏を越してしまうと、内部に露が浮いて、水が混入し、次のシーズンには使えないこともあります。灯油のポリタンクもそうです。そのまま夏を越すと、灯油が変質する恐れがあります。変質しているかどうかは、透明のプラコップなどに少し移してみるとわかります。透明だといいのですが、少しでも色(黄色っぽい)が付いていたり、臭いがおかしかったり、透明でも分離していたら使うと危険です。その場合は、お取引のガソリンスタンドなどに処分の依頼をしてみてください。

それから、灯油のポリタンクには寿命があるってご存じですか？ 私は今回調べるまで知らなかったのですが、以外に短くて、製造から約5年と言われています。5年を超えたら買替をおすすめします。見た目は大丈夫でも、日光や紫外線で弱っています。知らず知らずに破損して、灯油が漏れ出すと、火災の危険もあります。ポリタンクの側面を見るとそのタンクの製造年月が書いてあります。時計のようなマークの真ん中の数字が製造年(西暦)、矢印の指す方向にある数字が製造月になっています。かなり見にくいですが、我が家にもいくつかポリタンクあるのですが、調べてみたら、まだきれいそうなこのポリタンク、なんと2005年10月でした！なんと19年！こわーい！早速替えなくては!! おたくのポリタンク大丈夫ですか？ 保存は、屋内で、太陽の当たらない場所を選んでくださいね。

